

画像診断科／核医学科

○ 画像診断科／核医学科の概要

1. 画像診断科／核医学科の特色

本プログラムでは放射線科医としての基本的な知識と技術の習得をはかり、臨床各科と協調して医療に当たれる医師の育成を目的とする。各種画像診断学、核医学および放射線の防護と安全について学習する。画像の成り立ちを理解し、適切な画像検査が依頼でき、基本的な画像診断ができるように学習する。指導方法は、マンツーマンおよびカンファレンス形式で行い、作成した報告書は専門医によるダブルチェックを受ける。

当院は、日本医学放射線学会、日本インターベンショナル・ラジオロジー学会および日本核医学会が認定する専門医教育施設である。

2. 診療実績

画像診断科：単純写真（マンモグラフィを含む）・消化管撮影の読影、CT・MRI・血管造影検査の施行と読影、IVR 施行

核医学科：PET/CT および SPECT/CT 検査の施行と実施、核医学治療

3. 診療・教育スタッフ

市川 智章（教授）：画像診断一般、腹部画像診断
酒井 文和（教授）：画像診断一般、胸部・頭頸部画像診断
内野 晃（教授）：画像診断一般、神経画像診断、IVR
岡田 吉隆（教授）：画像診断一般、腹部画像診断
田中 淳司（教授）：画像診断一般、IVR
新津 守（教授）：画像診断一般、骨軟部画像診断
小澤 栄人（准教授）：画像診断一般、MRI
中澤 賢（准教授）：IVR 全般
齋藤 尚子（准教授）：画像診断一般、頭頸部画像診断
佐野 勝廣（准教授）：画像診断一般、腹部画像診断
森坂 裕之（講師）：画像診断一般、腹部画像診断

久慈 一英（教授）：核医学
山根登茂彦（准教授）：核医学
瀬戸 陽（講師）：核医学

4. 研修責任者と臨床研修指導医、上級医（指導者）

研修責任者：市川 智章（診療部長）、久慈 一英（診療部長）
臨床研修指導医：内野 晃、佐野 勝廣、久慈 一英、山根 登茂彦、
上級医（指導者）：市川智章、酒井文和、中澤 賢、佐藤 尚子

5. 臨床研修プログラムの特色

本プログラムは近接する埼玉医科大学病院放射線科と共同で進められる。国際医療センターの画像診断科・核医学科を rotate するが、研修の内容は希望によって変更可能である。各種検査および IVR を体験し、施行検査の報告書を作成し、指導医による指導を受ける。プログラム中には各種研究会、地方会などの学会に出席し、最新の知見にも触れることができる。プログラム修了時には、指導医のもとで、症例報告を行う。

CT、MRI、PET/CT など高度な画像診断装置が発達した現在医療では、将来どの科を専門にしたとしても画像診断との深いかかわりを避けることはできない。また、画像診断の深い知識を持っていることは臨床医にとって強みともなる。多くの研修医は、初期研修で広く全身、全分野を診る研修を希望しているが、画像診断部門の研修では、毎日、頭の先から足の先まであらゆる領域の疾患の画像を通し、全身をくまなく、またランダムに診ることができ、一人の患者さんを1つの臓器対象だけではなく、常に全身を対象にして診る訓練ができる。

6. 経験目標・到達目標

経験目標：

看護師や診療放射線技師との協調性を養い、患者を中心に他科の医師とのコミュニケーションがとれる医師を育てる。

到達目標と評価表（1ヶ月間研修した場合）

【評価 A：可 B：不可】	自己評価	指導医評価
1. 造影 CT、MRI の血管確保ができる。	()	()
2. 造影時の合併症に対応できる。	()	()
3. CT、MRI の適切な検査オーダーを出せる。	()	()
4. CT、MRI での画像解剖を理解し、病変の存在を指摘できる。	()	()
5. 頭部 CT、MRI で脳出血、脳梗塞の診断ができる。	()	()
6. 胸部 CT で肺癌のステージング診断ができる。	()	()
7. 腹部 CT で肝腫瘍の良悪性診断ができる。	()	()
8. 放射性トレーサを用いた核医学画像診断の基礎的知識を習得する。	()	()
9. 検査適応を含めた核医学画像診断技術を習得する。	()	()

到達目標と評価表（2ヶ月目以上研修した場合）

【評価 A：可 B：不可】	自己評価	指導医評価
1. 造影 CT、MRI の血管確保ができる。	()	()
2. 造影時の合併症に対応できる。	()	()
3. 造影剤使用禁忌について説明できる。	()	()
3. CT、MRI の適切な検査オーダーを出せる。	()	()
4. 頭部 CT、MRI で脳血管障害の診断ができる。	()	()
5. 胸部 CT で肺癌のステージング診断ができる。	()	()
6. 大動脈 CT で大動脈瘤、大動脈解離の読影ができる。	()	()
7. 腹部 CT で消化器癌の読影ができる。	()	()
8. 腹部 CT で腎細胞癌、尿路上皮癌の読影ができる。	()	()
9. 骨盤 MRI で子宮頸癌、子宮体癌の読影ができる。	()	()
10. 放射性トレーサを用いた核医学画像診断の基礎的知識を習得する。	()	()
11. 検査適応を含めた核医学画像診断技術を習得する。	()	()
12. 内照射による核医学治療に関する知識を習得する。	()	()

7. 週間・月間カンファレンススケジュール

(月)	7:30-8:00	心臓内科・画像診断科 カンファレンス
	16:30-18:00	婦人科病理カンファレンス
	16:30-18:00	脳卒中カンファレンス
	17:00-18:00	大学病院肝癌カンファレンス
(火)	8:00-8:50	抄読会、画像診断症例カンファレンス
	15:00-16:30	脳・脊髄腫瘍カンファレンス
	10:00-11:30	大学病院呼吸器内科カンファレンス
	18:00-18:50	泌尿器科カンファレンス
	18:00-19:30	脳腫瘍病理カンファレンス 1回/月
(水)	18:00-19:00	乳腺腫瘍合同カンファレンス 1回/月
	18:30-19:30	胆膵病理カンファレンス 1回/月
(金)	7:30-8:30	肝胆膵カンファレンス
	8:00- 8:45	呼吸器画像診断講義
	19:00-20:30	頭頸部病理カンファレンス 1回/月
(土)	8:30-10:00	呼吸器センター・放射線科・病理合同呼吸器肺縦隔腫瘍カンファレンス

8. 研修に関する問い合わせ先

〒350-1298 埼玉県日高市山根 1397-1
埼玉医科大学国際医療センター
画像診断科 佐野 勝廣(准教授)
E-mail : sanokt@saitama@med-ac.jp

埼玉医科大学国際医療センター
核医学科 久慈 一英(診療部長、教授)
E-mail : kuji@saitama-med.ac.jp